

特別企画 : 新型コロナウイルス関連融資に関する九州企業の意識調査

## 新型コロナウイルス関連融資、企業の 50.2%が活用 ～ 今後返済時期を迎える企業は 35.1%にのぼる～

### はじめに

新型コロナウイルス感染者が国内で初めて確認されてから約 2 年が経過した。政府は、感染防止と経済活動の両立を図るべく、政府系金融機関と民間金融機関による金利や返済条件が優遇されたコロナ関連融資制度を設けるなど、業績が大きく悪化した企業の支援に注力してきた。ただ、長期化するコロナ禍により、コロナ関連融資導入を背景として過剰債務を抱えた企業は増えており、今後企業の業績回復がスムーズに進むのかが、注目すべきポイントとなってくる。

帝国データバンク福岡支店では、新型コロナウイルス関連融資に関する見解について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2022 年 2 月調査とともに行ったもので、新型コロナウイルス関連融資に関する調査は今回が初めて。

調査期間は 2022 年 2 月 14 日～2022 年 2 月 28 日、調査対象は 2255 社で、有効回答企業数は 970 社 (回答率 43.0%)。全国調査から九州・沖縄地区の企業を抽出・分析した。

### 調査結果 (要旨)

1. 新型コロナウイルス関連融資について、『借りていない』と回答した企業は 970 社中 423 社 (構成比 43.6%) となった。一方、『借りた・借りている』と回答した企業の構成比は 50.2%と 5 割を超えた。規模別で見ると、「小規模企業」が 56.4%、業種別では「繊維・繊維製品・服飾品小売」(100.0%)がトップとなった
2. 借りた資金の使い道では、給与・賞与や福利厚生などを含む「人件費」が 50.5%でトップ。以下、「原材料や商品の仕入れなど」(42.5%)「設備の修繕・更新など」(23.0%)が続いた。一方で、「テレワークを含む通信費」(3.3%)は低位にとどまっている
3. 今後、借り入れ・追加融資の予定がない理由として「負債を増やしたくないから」が 37.9%で最も高く、「業績が回復し、借りなくても資金繰りに困らないから」(31.9%)が 3 割台で続いた。一方で、一部の企業では融資要件を満たせず、借り入れができない企業も見受けられた
4. 現在の返済状況について、「融資条件通り、全額返済できる」と回答した企業は 78.0%にのぼった。全国(81.3%)と比較すると 3.3 ポイント低いものの、8 割近い企業が返済できる意向を示した。返済状況の内訳をみると、「条件通り返済している」が 49.3%だったのに対し、「返済額の減額など条件緩和を受けながら返済している」(1.7%)や「返済が滞っている(返済猶予を含む)」(0.8%)と、長期化するコロナ化で、返済に苦戦を強いられている企業が散見された

## 1. 新型コロナ関連融資を『借りた・借りている』企業、50.2%で半数を超える

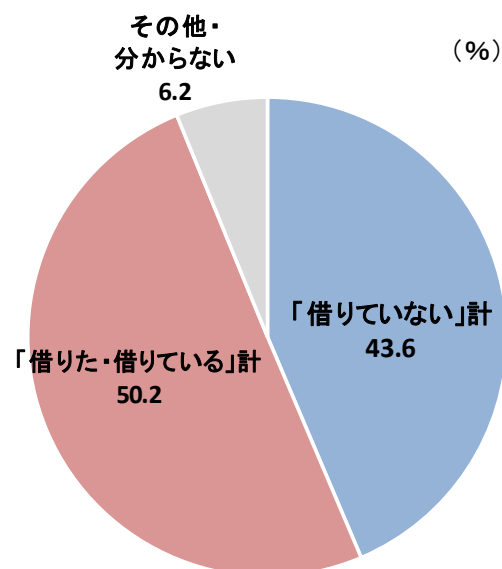
新型コロナ関連融資について、『借りていない』（「借りておらず、今後借りる予定はない」「借りていないが、今後借りる予定がある」の合計）と回答した企業は970社中423社（構成比43.6%）となった。全国（42.4%）と比較すると1.2pt上回っている。規模別で見ると、「大企業」（69.4%）は7割近い企業がコロナ融資を借りていないと回答し、そのすべてが「借りておらず、今後も借りる予定がない」と回答している。以下、『借りていない』としたのは「中小企業」が39.9%、「小規模企業」が36.4%となった。

一方、『借りた・借りている』（「すでに全額返済し、今後借りる予定はない」「すでに全額返済したが、今後借りる予定がある」「現在借りており、今後、追加融資を受ける予定はない」「現在借りており、今後、追加融資を受ける予定がある」の合計）と回答した企業の構成比は50.2%と5割を超えた。規模別で見ると「大企業」（23.1%）「中小企業」（54.1%）

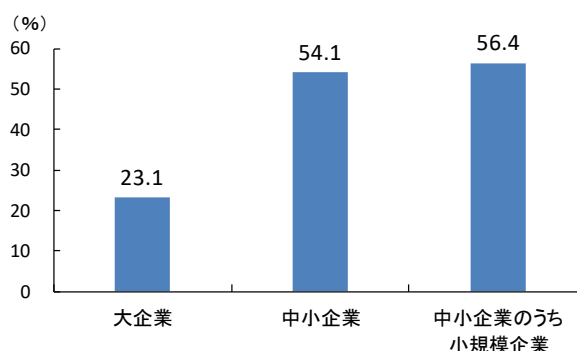
「小規模企業」（56.4%）となり、企業規模が小さくなるほど、新型コロナ関連融資を活用しながら厳しい状況を乗り切ろうとしている様子が浮き彫りとなった。

新型コロナ関連融資を「借りた・借りている」企業を業種別で見ると、「繊維・繊維製品・服飾品小売」（100.0%）が最も高く、「娯楽サービス」（88.9%）「自動車・同部品小売」（77.8%）「人材派遣・紹介」（75.0%）が続くなど、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や半導体不足、原材料の高騰等の影響を受けた業種が上位となった。

### ■コロナ関連融資の借り入れ有無



### ■コロナ関連融資の借り入れ有無「借りた・借りている」計（規模別）



### ■コロナ関連融資「借りた・借りている」(上位10業種)

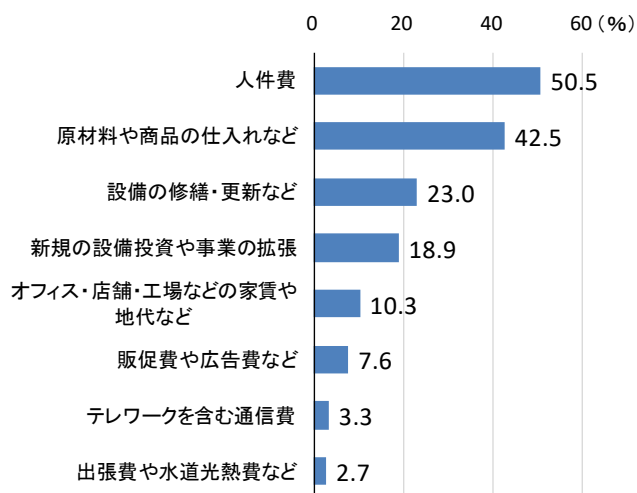
順位	業種	割合 (%)
1	繊維・繊維製品・服飾品小売	100.0
2	娯楽サービス	88.9
3	自動車・同部品小売	77.8
4	人材派遣・紹介	75.0
5	鉄鋼・非鉄・鋳業	74.1
6	飲食料品小売	71.4
6	各種商品小売	71.4
6	飲食店	71.4
9	旅館・ホテル	66.7
10	専門商品小売	63.2

## 2. 資金の使い道「人件費」が50.5%でトップ、仕入れや設備投資に使用する企業も

新型コロナ関連融資を「借りた・借りている」企業に資金の使い道を尋ねたところ、給与・賞与や福利厚生などを含む「人件費」（3 つまでの複数回答、以下同）が50.5%でトップとなった。以下、「原材料や商品の仕入れなど」（42.5%）「設備の修繕・更新など」（23.0%）が続いたが、5割の企業で雇用を維持するために使っていたことがうかがえる。

一方で、新型コロナウイルス感染拡大による影響でオンライン決済やテレワークなどの浸透が進んでいたなか、「テレワークを含む通信費」（3.3%）は低位にとどまる結果となった。

■コロナ関連融資の使い道（複数回答）



注：母数はコロナ関連融資を「借りた・借りている」企業487社

## 3. 借入れの予定がない理由「負債を増やしたくない」がトップ

新型コロナ関連融資を今後借りないまたは追加融資を受ける予定がない企業に対して、理由を尋ねたところ、「負債を増やしたくないから」が37.9%（3 つまでの複数回答、以下同）が最も高く、「業績が回復し、借りなくても資金繰りに困らないから」（31.9%）が3割台で続いた。内部留保や無借金経営を続けていることを理由に、借入れをしない企業が散見されたなか、一部の企業では融資要件を満たせず、借入れができない企業も見受けられた。企業からは、「コロナ禍が長期化しているのにも関わらず、追加融資を断られた」（運輸・倉庫/福岡県）といった声が聞かれた。

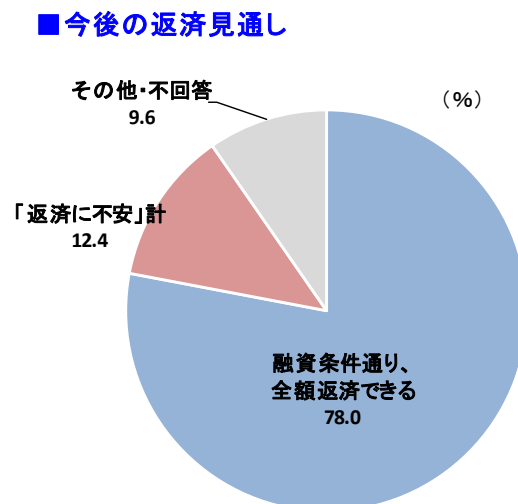
■コロナ関連融資を借りない・追加融資を受けない理由（複数回答） (%)

順位	理由	構成比 (%)
1	負債を増やしたくないから	37.9
2	業績が回復し、借りなくても資金繰りに困らないから	31.9
3	売上高減少などの融資要件を満たしていないから	16.7
4	公的支援や協力が支給され、借りなくても資金繰りに困らないから	8.6
5	返済のめどが立たないから	3.8
6	業績回復や事業継続のめどが立たないから	3.4
7	既に限度額まで借りてしまったから	3.3
8	手続きが煩雑だから	2.1
	その他	10.2

注：母数は、今後、借入れ・追加融資の予定がない企業846社

#### 4. 今後の返済見通し、「融資通り、全額返済できる」が78.0%、返済に不安を持つ企業も

コロナ関連融資を『現在借りている』（「現在借りており、今後、追加融資を受ける予定はない」「現在借りており、今後、追加融資を受ける予定がある」の合計）企業に対して返済状況を尋ねたところ、「融資条件通り、全額返済できる」と回答した企業は78.0%に昇った。全国（81.3%）と比較すると、3.3ポイント低いものの、8割近い企業が返済できる意向を示した。一方で、「返済に不安」と回答した企業は12.4%にのぼっている。



注：母数は、コロナ関連融資を現在借りている企業477社

また、現在の返済状況について尋ねてみると、「条件通り返済している」が49.3%だったのに対し、「返済額の減額など条件緩和を受けながら返済している」（1.7%）や「返済が滞っている（返済猶予を含む）」（0.8%）と、長期化するコロナ禍で、返済に苦戦を強いられている企業が散見された。さらに、『今後返済開始時期を迎える』（「2022年6月末までに返済が始まる」「2022年12月末までに返済が始まる」「2023年6月末までに返済が始まる」「2023年12月末までに返済が始まる」「2024年1月以降に返済が始まる」の合計）企業は35.1%となった。

#### まとめ

本調査から、新型コロナウイルス関連融資について『借りていない』と回答した企業は970社中423社（構成比43.6%）だったのに対し、『借りた・借りている』企業は50.2%で、半数を超える企業が活用していたことが判明した。『借りた・借りている』企業を業種別で見ると、コロナ禍による外出自粛や半導体不足、原材料の高騰等の影響を受けた業種が上位となるほか、規模別では、「大企業」（23.1%）「中小企業」（54.1%）「小規模企業」（56.4%）と、企業規模が小さくなるほど、新型コロナウイルス関連融資を活用しながら厳しい状況を乗り切ろうとしている様子が浮き彫りとなった。

新型コロナウイルス関連融資の使い道について尋ねたところ、「人件費」として回答した企業が5割にのぼるなど、企業の多くが、従業員の雇用維持に注力した結果となった。また、「原材料や商品の仕入れなど」や「設備の修理・更新」などに使用した企業も見受けられた一方で、コロナ禍による影響でオンライン決済やテレワークなどの浸透が進んでいたなか、「テレワークを含む通信費」（3.3%）は低位にとどまる結果となった。

足元では、変異株「オミクロン株」の流行も収まり、まん延防止等重点措置が解除されたことで再び経済回復が期待されているが、依然として新型コロナへの警戒心は強い。感染再拡大といった不確定要素だけでなく、コロナ関連融資の返済という融資を受けた企業にとっては必ずおと

ずれる義務も懸念材料として散見され始めている。今回の調査では、条件通り返済している企業は49.3%と半数近い企業が順調に返済できるものの、返済額の減額や返済猶予を受けている企業も少なからず見受けられるほか、今後返済時期を迎える企業が3割にのぼっている。倒産件数こそ抑制されているが、木材・原油価格、鋼材をはじめとする原材料 価格の高騰、半導体不足の深刻化など収益性の足かせとなる要素に加え、過剰債務を抱えた企業の増加を考えると、幅広い業種で事業継続を断念する可能性があり、倒産だけでなく、休廃業・解散の件数増加が予想され、今後の動向には注視する必要がある。

**【内容に関する問い合わせ先】**

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当：橋谷 祐樹

TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## ■新型コロナ融資の借入れ有無

(構成比%、カッコ内社数)

	借りておらず、 今後も借りる予 定はない	借りていない が、今後借りる 予定がある	すでに全額返 済し、今後借 りる予定はない	すでに全額返 済したが、今後 借りる予定があ る	現在借りてお り、今後、追加 融資を受ける 予定はない	現在借りてお り、今後、追加 融資を受ける 予定がある	その他	分からない	合計
全国	41.2 (4,763)	1.2 (135)	0.8 (96)	0.2 (24)	44.3 (5,125)	7.3 (839)	0.8 (93)	4.2 (487)	100.0 (11,562)
九州	42.5 (412)	1.1 (11)	0.9 (9)	0.1 (1)	43.8 (425)	5.4 (52)	1.3 (13)	4.8 (47)	100.0 (970)
大企業	69.4 (84)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	20.7 (25)	2.5 (3)	0.8 (1)	6.6 (8)	100.0 (121)
中小企業	38.6 (328)	1.3 (11)	1.1 (9)	0.1 (1)	47.1 (400)	5.8 (49)	1.4 (12)	4.6 (39)	100.0 (849)
うち小規模	34.1 (119)	2.3 (8)	1.4 (5)	0.0 (0)	48.7 (170)	6.3 (22)	1.4 (5)	5.7 (20)	100.0 (349)
農・林・水産	75.0 (12)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	18.8 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	6.3 (1)	100.0 (16)
金融	50.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	16.7 (1)	0.0 (0)	33.3 (2)	0.0 (0)	100.0 (6)
建設	46.3 (95)	1.5 (3)	2.0 (4)	0.0 (0)	41.5 (85)	4.4 (9)	0.5 (1)	3.9 (8)	100.0 (205)
不動産	41.7 (15)	2.8 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (18)	0.0 (0)	0.0 (0)	5.6 (2)	100.0 (36)
製造	37.6 (67)	1.1 (2)	1.1 (2)	0.0 (0)	44.9 (80)	7.3 (13)	1.1 (2)	6.7 (12)	100.0 (178)
卸売	43.6 (102)	0.9 (2)	0.9 (2)	0.0 (0)	46.2 (108)	3.0 (7)	0.4 (1)	5.1 (12)	100.0 (234)
小売	27.3 (15)	1.8 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	56.4 (31)	9.1 (5)	1.8 (1)	3.6 (2)	100.0 (55)
運輸・倉庫	38.8 (19)	0.0 (0)	2.0 (1)	0.0 (0)	44.9 (22)	12.2 (6)	0.0 (0)	2.0 (1)	100.0 (49)
サービス	43.4 (82)	1.1 (2)	0.0 (0)	0.5 (1)	40.7 (77)	6.3 (12)	3.2 (6)	4.8 (9)	100.0 (189)
その他	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (2)
福岡	47.6 (149)	0.3 (1)	1.0 (3)	0.0 (0)	40.9 (128)	4.2 (13)	0.6 (2)	5.4 (17)	100.0 (313)
佐賀	30.9 (17)	0.0 (0)	1.8 (1)	0.0 (0)	58.2 (32)	5.5 (3)	3.6 (2)	0.0 (0)	100.0 (55)
長崎	42.4 (53)	3.2 (4)	0.8 (1)	0.8 (1)	41.6 (52)	4.8 (6)	2.4 (3)	4.0 (5)	100.0 (125)
熊本	33.6 (39)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	52.6 (61)	7.8 (9)	1.7 (2)	4.3 (5)	100.0 (116)
大分	32.9 (26)	0.0 (0)	2.5 (2)	0.0 (0)	48.1 (38)	8.9 (7)	2.5 (2)	5.1 (4)	100.0 (79)
宮崎	37.5 (27)	1.4 (1)	1.4 (1)	0.0 (0)	50.0 (36)	4.2 (3)	1.4 (1)	4.2 (3)	100.0 (72)
鹿児島	46.0 (57)	2.4 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	40.3 (50)	2.4 (3)	0.0 (0)	8.9 (11)	100.0 (124)
沖縄	51.2 (44)	2.3 (2)	1.2 (1)	0.0 (0)	32.6 (28)	9.3 (8)	1.2 (1)	2.3 (2)	100.0 (86)

注1：網掛けは、九州以上を表す  
注2：母数は有効回答企業970社